

えん罪・仙台北陵クリニック事件

守大助さん面会記

2011年11月 千葉刑務所 NO・39

激励先 〒264-8585 千葉市若葉区貝塚町192 守大助さんへ

11月の面会日は18日、25日、28日

12月の面会日は2日、8日、28日

面会申込は救・神奈川県本部 050-3310-1368 fax045-663-7953

e-mail kyuenkai-k2@clock.ocn.ne.jp

発行:救・千葉県本部Tel043-251-7351 fax043-251-4159

E-mail kyuen-chiba@kc4.so-net.ne.jp

◆10月3日(月)

10月3日(月)面会室に入ると、すでに大助さんが待ち構えていたので3人が慌ててしました。顔色も良く前と変わらず大助さんから「様々な立場の人たちに広げて欲しい」。私からは「全国交流会に神奈川から大勢参加したことや12月に相模原支部大会に御両親を呼んで学習会をし守る会を作りたい」などを話しました。東電OL事件ゴビンダさんのこともTVで知っていました。

関川さん(救・神奈川) 同行岸田

◆10月14日(金)倉坂・向田(救・海老名)、菊田(宮城)

1年4ヶ月ぶりに面会をしました。顔色も良く元気でした。私たちは普段の生活で、冤罪事件などを救援、支援活動をしていると、日々の経つのは早いものです。

大助さんは十数年間自由を奪われるだけでなく、冤罪で無期懲役とは、これほどつらい事はないと思います。大助さんと話しをする中で、一人でも多くの方々が面会し直接本人と話してほしいと思いました。

これからも救援・支援活動に参加される人を増やして行かなくてはとの思いを胸に刑務所を後にしました。向田さん(救・海老名支部)

差入れ石鯨 同行添田(救・神)、戸賀



◆10月28日(金)御両親と佐々木さん

佐々木さんが故郷に帰られるので面会に来られました。北陵クリニック時代の友達で当時の大助さんの「人柄や仕事ぶりも知っている。大助さんは人殺しなどする人ではない。

又、当時の職場仲間も話されていたが大助さんを犯人にするために過酷な取り調べを受けて悩んでいた人も…」。

「仲々面会に来られないが大助さんの無実を晴らすために協力をしたい。」弁護士選任届を出したので大助は気持ちが落ち着いたらと御両親が話されていました。

面会后聞き取りで要点だけまとめました・戸賀)



差入物品の変更に注意を

書籍・雑誌は1月から一人3冊。パンフ・写真は10枚
衣類・下着は差入れはダメ。売店からの全て購入です。
衣類・下着は今まで外部差入れより値段が、どうかな？



秋晴れの10月に救・神奈川と宮城から
震災を受けながらも面会に

えん罪・仙台北陵クリニック事件とは

守大助さん(当時29歳)が、勤務していた医療法人北陵クリニックに於いて、患者五人の点滴に筋弛緩剤マスキュラックスを混入したとして2001年に逮捕。仙台拘置所に身柄を拘束されました。仙台地裁、高裁。最高裁で「無期懲役」が2008年2月25日確定。2008年7月から千葉刑務所に服役中です。

しかし、大助さんには動機もなく5人の容体急変は筋弛緩剤の薬理効果とは矛盾し、科学鑑定も否定され、試料も警察に廃棄され再鑑定が妨害されている。

現在再審準備中

◆10月3日(月)関川(神奈川)、今井(首都圏の会)、佐藤(山形・置賜)

◆秋晴れ、大助さんに一年ぶりに面会して堪らなく嬉しかった。大助さんも「一年、そんなになりますか！手紙の交流が続いていたからいつも会っていた様な気がする」とはなしてくれ、私は思わず早く直接握手したいですねと言っていました。置賜では仙台北陵クリニック事件を入れたことを言うと「これが原点だから」喜んでくれた。再審無罪に向けて地道な活動を継続しなければと決意を新たにしました。すべての証拠開示、指紋、点滴セット、全量消費など訴えてゆきたい。

差入れはタウン誌二冊。切手 佐藤さん

◆◇面会前後も文通をお願いします！